

令和6年度都城市立菴子野小学校の重点的な取組

文部科学省・宮崎県教育委員会の教育方針

<学校の教育目標>

心も、体も元気よく、自ら学ぶ子どもの育成

都城市教育委員会の教育方針

【地域の実態】

- ・豊かな自然環境
- ・協力的な保護者や地域の人々
- ・庄内地区の一員 等

<めざす児童像と合言葉>

- 思いやりのある子ども (笑顔いっぱい)
- 元気な子ども (元気いっぱい)
- 進んで勉強する子ども (やる気いっぱい)

【学校の実態】

- ・創立74年の若い学校
- ・児童86人の小規模校
- ・タブレットパソコンの効果的な活用等

<重点目標と最重点評価指標>

- 1 よりよく生活しようとする子どもの育成………あいさつ・返事・くつ並べができる児童が自己評価100%以上
- 2 健康な体づくりをしようとする子どもの育成………体力テストで昨年の記録より向上した児童100%
- 3 学んだことを身に付け、生かそうとする子どもの育成…学力検査で全国比全学年で国語・算数共に100以上

<具体的目標と指導の場>

<目標1>

「よりよく生活しようとすることができる」

□ 学級や学校づくり

- 学級や学校の生活づくりに参画できる。(学活、行事)

□ よい生活習慣づくり

- 笑顔であいさつ、素直に返事、くつ並べができる。
- 静かに廊下を歩き、きまりを進んで守ることができる。
- ぽかぽか言葉でコミュニケーションづくりができる。
- 異学年で力を合わせて無言清掃ができる。

(日常指導・家庭)

<目標2>

「健康な体づくりをしようとすることができる。」

□ 体力づくり

- 体力テストで、前回の記録を更新することができる。(体育、外遊び・家庭)

□ よい健康習慣づくり

- 早寝、早起き、朝ご飯、歯みがき、手洗いなどが言われなくともできる。(家庭)
- ゲームやスマホの時間をコントロールする(1時間以内)等のよりよい生活習慣を身につけることができる。(家庭)
- コロナ感染拡大防止を意識して生活することができる。

<目標3>

「学んだことを身に付け、生かそうとすることができる」

□ あたまづくり

- 学力検査で全国・県比100を達成することができる。

(授業)

- ・ 習熟の時間の確保
- ・ テンポのよい授業
- ・ 実態に合った授業
- ・ 指示や発問の工夫

□ 学びの姿勢づくり

- 読書を楽しむことができる。(読書の時間、貸出、家庭)
- 自ら学びに向かうことができる。(授業)
- 学習したことを定着させることができる。(家庭)

共感的な人間関係を基盤とした教育環境

- 生徒指導の3機能(自己決定の場を与えること、自己存在感を与えること、共感的な人間関係を育成すること)を重視した授業、日常指導、行事等の実施…笑顔でほめる機会を倍にしよう
- 道徳教育、教育相談、サポート体制の充実(外部機関との積極的な連携)
- 特別支援教育の充実(自・情学級の充実、通常学級在籍児童への支援)
- 人権が守られ、安心・安全な学校づくり(落ち着いた学級、人権や安全を第一に考えた諸活動の計画と運営)

社会に開かれた教育課程の推進(コミュニティ・スクールの充実)

幼・保・小・中・高との連携

- ・庄内地区ブロック研修の充実(教職員同士の交流推進)
- ・幼児、児童、生徒どうしの交流

家庭・地域社会との連携

- ・学校の指導と連動した家庭教育の充実、地域社会の教育力の積極的活用・広報活動

関係機関・団体との連携

- ・庄内地区まちづくり協議会
- ・庄内地区青少協、社協連、体育協会ほか各団体

学校支援地域本部との連携(庄内地区まちづくり協議会・菴子野地区教育振興会) (授業への支援、読み聞かせ活動への支援、心のプレゼント運動推進)